

令和6年 3月 4日 (月)

校長 野尻 史子

おはようございます。

先週の金曜日に、巣立ちの会が行われました。

6年生が、先生方やおうちの方に、これまでお世話になった感謝の気持ちを伝えるため、そして、おうちの方、先生方もいっしょに、6年生の卒業をお祝いするための会でした。

6年生は、4年生から本野先生が担任していますが、1年生の時は、いまはいらっしゃらない米澤先生、2年生は田中先生、3年生は由記子先生が担任していたということで、その頃の思い出を話されました。

今はしっかりして、低学年のお世話も上手にしている6年生ですが、小さい頃は、どんなだったのでしょう。田中先生や由記子先生に、あとで聞いてみてください。

参加したみなさんの心のこもった素敵な会でしたが、その巣立ちの会も終わり、いよいよ今週からあと14日、15日で、今の学年のゴールがやってきます。

持久走でいうと、ラスト1周と少し、といったところでしょうか。

巣立ちの会で6年生にも話しましたが、時間が経つのはあっという間です。

大事なことや、今の学年のうちにやっておきたいこと、未来のために始めたいことなど、いつかやればいいや、と思っていても、その「いつか」は、むこうからやってくることはありません。

自分の心できめて、「よし、今からやろう。」と自分から始めなければならぬのです。

みんなが、3月24日、25日までにしたいことは何ですか。やり残しているのはどんなことでしょう。

4月の自分の目当てを思い出して、あとで「よし、がんばった！」と自分で自分をほめてあげられるように、やりのこしなく、全力でやりきってくださいね。

さて、おとといの3月2日土曜日には、学校の近く、岩淵かつぱひろばがリニューアル、新しく生まれかわり、お祝いのイベントがありました。

公園というのは、子供たちの遊び場であるだけでなく、昼間は小さな赤ちゃんがあそんだり、お年寄りが休んだりしたりすることもあります。

また、最近地震が多いけれど、災害の時には避難所になったり、情報が集まり、支援の食事やお水などが配られる場所にもなります。

起震車や白バイが八雲神社の境内にきて、消防士さんの服を着ての写真撮影とか、お楽しみもたくさんありましたが、それだけでなく、起震車体験、大地震がおこったときの災害用トイレを組み立てたり、薪を燃やして使う災害時用のかまどで甘酒をつくってくれたり、災害時のこと想像できるような工夫もされたイベントでした。

新しいかつぱ広場が、どんな公園になったのかな。と、ぜひ探検に行ってみるといいでですね。

小さな公園ですが、新しくとてもきれいな公園です。ご近所の方にご迷惑をおかけしないように、決まりを守り、たのしく遊んでほしいと思います。